Pictorial 4 : Distribution of Land Use, Soil Type and Average Nitrate Concentration in 2003 in the Tama River Watershed

100 m メッシュの土地利用図（国土交通省, 1997）によると，1997 年においては多摩川流域の 59%が森林，23%が市街地，5%が農耕地であった (a)．上流から中流部までは森林が，中流部から下流部では市街地が広がる．森林が広がる上流では褐色森林土が，下流では淡色黒ボク土が卓越している (b)．平水時の硝酸態窒素濃度の年間平均値は下流に行くに従って増加し，硝酸態窒素濃度は中流部までは $0.7 \sim 1.2 \text{ mg N L}^{-1}$ だが，日野橋を境に多摩川本流では $2.6 \sim 6.0 \text{ mg N L}^{-1}$ の濃度となっている (c)．詳細は木村・岡崎論文 (p.553-560) 参照．

図 1 (a) 多摩川流域における土地利用，(b) 土壤タイプ，(c) 2003 年度における硝酸態窒素濃度の年間平均値の分布（東京都，2005）．

Fig. 1 Land use (a) and soil type (b) distribution in the Tama river watershed. (c) Distribution of average nitrate concentration in 2003 (Tokyo Metropolitan Government, 2005).

(木村園子ドロテア・岡崎正規)
(Sonoko D. KIMURA and Masanori OKAZAKI)